

カビが好む環境とは？

カビは暖かくて湿度の高い環境を好みます。特に温度が20～30℃、湿度が70%以上という条件がそろると、発生する可能性が非常に高くなります。また、空気(酸素)と栄養があることもカビが繁殖するための必須条件。食品をはじめ、木材、繊維、プラスチック、皮革製品なども栄養源になるため、住まいのほとんどの場所でカビが発生する可能性があります。

カビが発生する4つの条件

- 1 湿度が70%以上
- 2 温度が20～30℃
- 3 栄養源があること
- 4 空気(酸素)があること

カビを発見したら

毎日掃除をしていても、どうしても行き届かない場所がでてきます。カビを発見した場合、狭い範囲ならば家庭でも市販のカビ取り剤、漂白剤や台所用洗剤などを使って除去が可能です。しかし、広範囲に広がっている場合はむやみやたらに拭いたりするとカビの胞子を撒き散らすおそれがあるため、専門の業者に依頼して除去してもらいましょう。

⚠️ 市販のカビ取り剤を使うときの注意点

カビ取り剤は殺菌・漂白力が強力ですが、それだけ取り扱いには注意が必要です。必ずマスク、ゴム手袋、保護用メガネなどを着用し、換気を十分に行ってから使用しましょう。また、酸性洗剤と一緒に使うと塩素ガスが発生して大変危険ですので、絶対に併用しないようにしてください。

カビは病気やアレルギーの原因にも

カビの被害は住まいを劣化させたりするだけでなく、時には私たちの病気を引き起こす原因となることもあります。カビによる健康被害には、①アレルギー疾患(ぜんそく等)、②皮膚病(水虫、たむし等)、③感染症(肺炎等)、④カビ毒(食中毒)があります。

【参考文献】

- 井上真由美(1996)「やさしいカビの基礎知識」オーム社。
- カビと生活研究会(2006)「トコンやさしいカビの本」佐々木正実監修、日刊工業新聞社。
- ジョンソン編(1987)「わが家のカビウオッチング:カビの科学から撃退法まで」洋泉社。
- 谷川力編、富岡康浩・池尻幸雄・白井英男・吉浪誠(2007)「写真で見える有害生物防除事典」オーム社。
- 吉川翠・山田雅士・芦沢達(1989)「ダニ・カビ・結露:住まいQ&A」井上書院。
- 日本家庭用洗浄剤工業会「住まいのカビ情報館」http://www.senjozai.jp/05_shiryo/jyohoukan01.html(2010年10月現在)

このパンフレットで使用している写真は、すべてイカリ消毒株式会社からご提供いただきました。

創立30周年
消費者と企業の共生をめざして

ACAP
the Association of Consumer Affairs Professionals

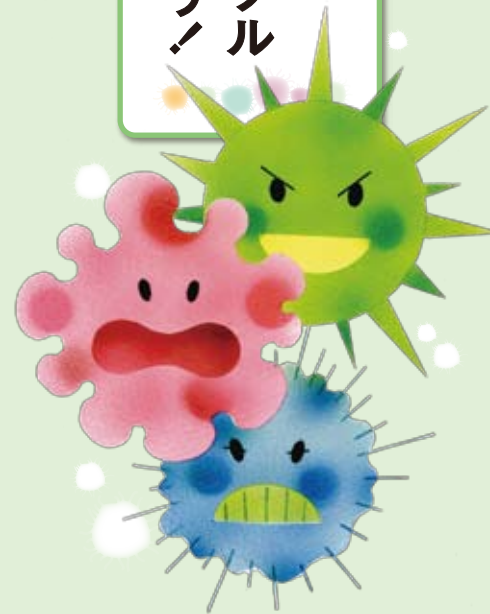
社団法人
消費者関連専門家会議

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-12 玉屋ビル5F
TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049
<http://www.acap.or.jp>

2010年11月1日

ACAP暮らしのお役立ち冊子 vol.2

住まいを
カビトラブル
から防ごう！



カビって何だろう？

普段、なかなか目が届かない場所を掃除してみたら、カビが生えていたという経験はありませんか？

カビは、私たちの生活にすぐ身近な微生物で、学問上はきのこや酵母と同じ「真菌類」と呼ばれ、その種類は世界中に10万種以上いるといわれています。特に日本の食文化とは古くから密接に関わっており、みそやしょうゆ、清酒の製造に役立てられてきました。その一方で、アレルギー疾患、皮膚病などの病気を引き起こしたり、衣食住のさまざまなものを劣化・腐敗させ、ダメにしています。

当冊子では、住まいに関わるカビのトラブルを取り上げ、その対処・予防法を紹介します。

カビについて知り、住まいをカビから守りましょう！